

天平勝宝 八歳丙申の二月朔乙酉二十四日

戊申に、太上天皇・天皇・太后、河内

の離宮に幸行し、信を経て壬子を以て難波

宮に伝幸したまふ。河内国伎人郷の馬国人の

家にして宴したまふ歌三首

四四五七番

住吉の 浜松が根の 下延へて 我が見る小野の

草な刈りそね

四四五八番

にほ鳥の 息長川は 絶えぬとも 君に語らむ

言尽きめやも

四四五九番

葦刈りに 堀江漕ぐなる 梶の音は 大宮人の

皆聞くまでに